

標語聖句

わたしは主を愛する。主はわが声と、わが願いとを聞かれたからである。  
主はわたしに耳を傾けられたので、わたしは生きるかぎり主を呼びまつるであろう。

詩篇 116 篇 1・2 節

牧師欄

テサロニケ人へ第一の手紙を読むとパウロとテサロニケ教会の関係を知ることが出来ます。手紙の半分以上が彼らの信仰に対する感謝と祈りであふれています。この手紙の 5 章 12 節から 22 節に誠実な教会とは 1) 喜ぶ教会 2) 祈りの教会 3) 感謝の教会 であり、そのような教会に成長するようにと奨励しています。創立 80 年を経た私達の教会もパウロが勧めるように誠実な教会にますます力強い歩み続けるように祈りあいましょう。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。“霊の火”を消してはいけません。」(テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16-19/新共同訳) 私達も神に感謝の気持ちを絶えず表し祈る信仰生活をおくりましょう。詩人ダビデは詩篇のなかで次のように歌っていますが、この句の意味を深く考え、神様が私達に下さる限りなく豊かな愛と慈しみを常に心におぼえ感謝しましょう。

わがたましいよ、主をほめよ。わがうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名をほめよ。  
わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。  
主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし、  
あなたのいのちを墓からあがないだし、いつくしみと、あわれみとをあなたにこうむらせ、  
あなたの生きながらえるかぎり、良き物をもってあなたがたを飽き足らせられる。  
こうしてあなたは若返って、わしのように新たになる。

教会行事・集会案内

毎日曜日 午前9時30分 聖書研究 午前10時30分 主日礼拝  
毎水曜日 聖書研究と交わりの会  
毎月第2水曜日 午後7時 定例役員会

11月1日(日) 午前0時 夏時間終了  
7日(土) 午前11時 日語部礼拝  
26日(木) 収穫感謝の日

11月誕生者

1日 高木牧師 トービルソン・初美 5日 ロジャース・美子  
13日 シヤーズ・タカ 14日 平松淑子

## 感謝録

- 1) 日語部の責任者として月例の日本語による礼拝を担当し、会員の親睦交流と福利のため日夜お世話くださる文牧師ご夫妻に。
- 2) 日語部礼拝の奏楽者として長年ご奉仕され 11 月で退任の平松淑子姉に。
- 3) 日語部会計経理を務めてくださるトンプソン・英子姉に。
- 4) 教会月報リフレクター日本語版の編集にあたる橘慈子姉に。
- 5) 教会創立 80 年記念日のため準備その他に献身的に奉仕された兄弟姉妹に。

## 報告

さる 10 月 13 日から 16 日の 4 日間ロサンゼルスの小東京センテナリー合同メソジスト教会で全米日系人合同メソジスト教会牧師会が開かれた。約 25 名の牧師が全米各地より集まり、日系人教会の現在の牧会状況を発表しあい、また将来の教会のあるべき姿の研究と話し合いが、熱心になされた。此の間ロサンゼルス近郊の 3 姉妹教会を訪問し、各教会の現況を聞き相互理解と交流を深めた。高木、文、キャンプハウスの 3 牧師が当教会からの代表として参加した。

\* \* \* \* \*

## マザー・テレサの愛した祈り

憎しみのあるところに愛を 罪のあるところにゆるしを  
争いのあるところに一致を 誤りのあるところに真理を  
疑いのあるところに信仰を 絶望のあるところに希望を  
闇のあるところに光を 悲しみのあるところには喜びを

慰められるよりも慰めを 理解されるよりも理解することを 愛されるよりは愛することを